

問1 平安時代に国風文化が発展した歴史的背景と、その文化的な特徴について説明した文として最もふさわしいものはどれですか。 (2017年

長崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 大陸との公的な交流が途絶えたことで、日本独自の感性を重視する風潮が生まれ、仮名文字による文学が発達した。 | 2. 武士が政治の実権を握ったことで、力強く素朴な文化が好まれ、猿楽や田楽などの芸能が民衆に広がった。 | 3. 禅宗の影響を受けて、華やかさを排除した質素で静かな美意識が貴族や武士の間で共有されるようになった。 | 4. 町人の経済力が向上したことで、浮世草子のような庶民の娯楽や日常生活を題材とした文化が全盛期を迎えた。 |
|---|---|--|---|

問2 天皇や貴族、僧侶の間で茶を飲む習慣が見られた平安時代の社会背景において、この時期の出来事として述べた説明として適切なものを選びなさい。 (2021年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 平将門による大規模な反乱が発生し、武士の存在感が地方で高まった。 | 2. 北条泰時が御成敗式目を制定し、武士のための法整備が進んだ。 | 3. 足利義満が日明貿易を始め、茶の湯などの東山文化が発展した。 | 4. 聖武天皇が国分寺建立の詔を出し、奈良の都を中心に仏教文化が栄えた。 |
|-------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|

問3 1185年に発生した壇ノ浦の戦いによってもたらされた歴史的状況の変化について、正しい記述を選びなさい。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 平氏が源氏を退けたことで、平清盛を中心とする貴族的な政治体制がさらに強まった。 | 2. 源氏が平氏を滅ぼしたことで、源頼朝による武家政権（鎌倉幕府）の成立が決定定的となった。 | 3. 源氏と平氏が和解したことで、両者が協力して元（モンゴル帝国）の侵攻に備える体制が整った。 | 4. 朝廷の軍勢が幕府を倒したことで、後鳥羽上皇による天皇中心の政治が再興された。 |
|--|--|---|---|

問4 1185年に、現在の山口県下関市付近にある本州と九州の境目の海域で行われた、源氏と平氏による最終決戦の名称として正しいものを選びなさい。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|----------|-----------|----------|
| 1. 壇ノ浦の戦い | 2. 長篠の戦い | 3. 一の谷の戦い | 4. 屋島の戦い |
|-----------|----------|-----------|----------|

問5 平安時代初期、最澄が唐から伝えた仏教の宗派と、その修行の拠点となった場所の組み合わせとして正しいものを次の中から選びなさい。

(2024年 愛媛県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------|-----------------|------------------|------------------|
| 1. 真言宗 — 比叡山延暦寺 | 2. 天台宗 — 比叡山延暦寺 | 3. 真言宗 — 高野山金剛峯寺 | 4. 天台宗 — 高野山金剛峯寺 |
|-----------------|-----------------|------------------|------------------|

問6 平安時代末期に政権を握った平清盛は、大陸との交流を重視しました。彼が経済的な基盤を固めるために推進した「日宋貿易」の説明として正しいものはどれか。 (2022年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 長崎などの港を拠点に、ポルトガル人やスペイン人と火縄銃や銀の取引を行った。 | 2. 倭寇と正規の貿易船を区別するために「勘合」と呼ばれる札を用い、明との間で貿易を行った。 | 3. 將軍から海外渡航の許可証である「朱印状」を与えられた商人が、東南アジア諸国と貿易を行った。 | 4. 瀬戸内海の航路や、現在の神戸市にあたる兵庫の港（大輪田泊）を整備し、宋の商船を招き入れた。 |
|--|--|--|--|

問7 12世紀半ばの保元の乱などで後白河天皇側に従って戦い勝利を収めた後、武士として初めて太政大臣となり政治の実権を握った人物として適切なものはどれですか。 (2025年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 源頼朝 | 2. 平清盛 | 3. 平将門 | 4. 藤原清衡 |
|--------|--------|--------|---------|

問8 788年に最澄（伝教大師）が比叡山に建立し、鎮護国家の思想に基づいて平安京の鬼門を守る役割も担った天台宗の寺院はどれですか。 (2018年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|---------|---------|
| 1. 延暦寺 | 2. 東大寺 | 3. 唐招提寺 | 4. 金剛峯寺 |
|--------|--------|---------|---------|

問9 12世紀後半に武士として初めて太政大臣となり、政治の実権を握った人物が行った経済政策として最も適切なものはどれですか。この人物は、現在の神戸市にあたる場所に港を整備したことで知られています。 (2026年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|------------------------------|----------------------------------|
| 1. 堺や博多の商人に特権を与え、座を廃止して自由な取引を認めた。 | 2. 大輪田泊を修築し、宋との貿易を積極的に進めて富を蓄えた。 | 3. 朱印状を発行して東南アジア諸国との貿易を奨励した。 | 4. 勘合を用いて明との貿易を行い、倭寇の取り締まりを強化した。 |
|-----------------------------------|---------------------------------|------------------------------|----------------------------------|

問10 藤原道長が長年にわたって強大な権力を維持できた政治的な仕組みについて述べた文として、正しいものはどれですか。 (2017年 沖縄県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 自分の娘を天皇の后とし、その子が次の天皇になることで、天皇の母方の親戚（外戚）として実権を握った。 | 2. 日宋貿易を積極的に進めることで莫大な富を蓄え、その経済力を背景に官位を独占した。 | 3. 天皇を退位させて上皇となり、摂政や関白の力を抑えて「院」において政治の決定を行った。 | 4. 武士団を組織して京都の警備を独占し、軍事を背景に天皇や貴族を威圧して政治を動かした。 |
|--|---|---|---|

問11 平安時代中期、遣唐使の廃止などを背景に日本独自の貴族文化である国風文化が栄えました。この時期、藤原道長の娘である中宮彰子に仕え、貴族社会の人間模様を全54帖にわたって描いた長編小説の作者は誰ですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1. 和泉式部 | 2. 小野小町 | 3. 清少納言 | 4. 紫式部 |
|---------|---------|---------|--------|

問12 平安時代初期、桓武天皇から軍の最高指揮官である「征夷大將軍」に任命され、東北地方で朝廷に抵抗していた蝦夷（えみし）を服属させた人物は誰ですか。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|-----------|--------|--------|
| 1. 阿部比羅夫 | 2. 坂上田村麻呂 | 3. 平清盛 | 4. 源頼朝 |
|----------|-----------|--------|--------|

問13 桓武天皇が坂上田村麻呂を東北地方へ派遣し、大規模な軍事行動を行った政治的な背景や目的として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 仏教による国づくりを完成させるため、東北各地に国分寺を建立する用地を確保するため。 | 2. 平安京への遷都と並ぶ大きな事業として、律令国家の支配権を北方に拡大するため。 | 3. 平氏の勢力を追い詰め、鎌倉に幕府を開くための拠点を東北に確保するため。 | 4. 元寇によるモンゴル軍の侵攻に備え、防衛ラインを東北地方まで北上させるため。 |
|--|---|--|--|

問14 平安時代末期、白河上皇の邸宅跡からは当時の高度な文化を示す青磁などが発掘されています。このように、天皇が位を譲った後も「上皇」として自らの居所で政治の実権を握り、天皇に代わって政治を執り行う形態を何と呼びますか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|-------|--------|
| 1. 摂関政治 | 2. 武家政治 | 3. 院政 | 4. 合議制 |
|---------|---------|-------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 大陸との公的な交流が途絶えたことで、日本独自の感性を重視する風潮が生まれ、仮名文字による文学が発達した。	遣唐使の派遣が停止されたことで、唐の文化をそのまま模倣する段階から、日本の風土や生活感覚に合わせて消化・吸収する段階へと移行しました。これが「国風文化」であり、漢字を簡略化した仮名文字によって、紫式部の『源氏物語』などの優れたかな文学が生まれたことが大きな特徴です。選択肢にある猿楽や田楽はのちの時代、浮世草子は江戸時代、禅宗の影響は鎌倉・室町時代に顕著になる特徴です。
問2	答え 1 平将門による大規模な反乱が発生し、武士の存在感が地方で高まった。	平安時代初期、唐から伝えられた茶は、天皇や貴族、僧侶などの限られた層で愛好されていました。この時期の社会では、一方で地方の政治が乱れ、自衛のために武装した武士たちが勢力を伸ばしていました。その象徴的な出来事が、関東で起こった平将門の乱です。他の選択肢にある御成敗式目は鎌倉時代、東大寺や国分寺は奈良時代、日明貿易は室町時代の出来事です。
問3	答え 2 源氏が平氏を滅ぼしたことで、源頼朝による武家政権（鎌倉幕府）の成立が決定定的となった。	壇ノ浦の戦いで平氏が滅亡したことにより、源氏による全国支配の基盤が固まりました。この勝利を経て、源頼朝は守護・地頭の設置を認めさせるなど、武士が政治の主導権を握る鎌倉時代へと本格的に移行していくことになります。
問4	答え 1 壇ノ浦の戦い	本州と九州を隔てる関門海峡の山口県側にある壇ノ浦で行われた戦いです。この戦いによって、平安時代末期に大きな勢力を誇った平氏が滅亡し、源氏による武家政権の樹立に向けた大きな転換点となりました。
問5	答え 2 天台宗 — 比叡山延暦寺	最澄は平安時代の初めに遣唐使として中国（唐）に渡り、帰国後に天台宗を伝えました。彼は滋賀県と京都府の境に位置する比叡山に延暦寺を建立し、そこを修行の拠点としました。同時期に空海によって開かれた真言宗（高野山金剛峯寺）と混同しやすいため、人物・宗派・寺院の名称を正しく一致させることが重要です。
問6	答え 4 瀬戸内海の航路や、現在の神戸市にあたる兵庫の港（大輪田泊）を整備し、宋の商船を招き入れた。	平清盛は、武士として初めて太政大臣の位に就くと、それまでの貴族とは異なり、貿易による経済的利益を重視しました。大型船が接岸できるように、現在の兵庫県神戸市にある大輪田泊を修築したことは、地理的にも重要な政策として知られています。他の選択肢にある勘合貿易は室町時代、朱印船貿易は安土桃山時代から江戸時代初期、南蛮貿易は戦国時代以降の出来事です。
問7	答え 2 平清盛	12世紀半ばに起きた保元の乱などで後白河天皇側に従って勝利を収めた平清盛は、武士として初めて太政大臣となり政治の実権を握りました。
問8	答え 1 延暦寺	最澄は唐で仏教を学んだ後、比叡山に延暦寺を建立し、天台宗を広めました。延暦寺は、仏教の力で国家の平和を維持しようとする拠点となり、多くの僧侶を輩出しました。これは空海が高野山に建立した真言宗の金剛峯寺とともに、平安時代における新しい仏教の形として、国家の安定に寄与することを大きな目的の一つとしていました。
問9	答え 2 大輪田泊を修築し、宋との貿易を積極的に進めて富を蓄えた。	平清盛は、武士として初めて政権の頂点に立つと、経済基盤を固めるために日宋貿易を推進しました。そのために、現在の神戸市にあたる大輪田泊を大規模に修築し、宋の大型船が停泊できるようにして、宋銭や陶磁器などの輸入を行いました。
問10	答え 1 自分の娘を天皇の后とし、その子が次の天皇になることで、天皇の母方の親戚（外戚）として実権を握った。	摂関政治の力の源泉は、天皇との血縁関係にあります。藤原氏は娘を天皇の后に入れ、生まれた皇子を次の天皇に立てることで、自分たちが「外祖父」という立場になり、摂政や関白として政治を主導しました。これに対し、上皇が政治を行うのは「院政」、日宋貿易で力をつけたのは「平氏」の特徴です。
問11	答え 4 紫式部	国風文化の時期には、かな文字の発達により、宮廷に仕える女性による優れた文学作品が誕生しました。紫式部は一条天皇の中宮彰子に仕え、世界最古の長編小説とも言われる『源氏物語』を執筆しました。選択肢にある清少納言は、中宮定子に仕えて随筆『枕草子』を執筆した人物です。
問12	答え 2 坂上田村麻呂	桓武天皇は平安京への遷都とともに、律令国家の支配を広げるため東北地方の平定に力を入れました。この時、大軍を率いるリーダーとして起用されたのが坂上田村麻呂です。彼は蝦夷の首長であったアテルイを降伏させ、胆沢城（現在の岩手県）を築くなどの功績を挙げました。阿部比羅夫は飛鳥時代に東北へ派遣された人物、源頼朝は鎌倉幕府を開いた人物です。
問13	答え 2 平安京への遷都と並ぶ大きな事業として、律令国家の支配権を北方に拡大するため。	平安時代初期の桓武天皇は、律令国家を立て直すために「造作（平安京などの都づくり）」と「軍事（東北の蝦夷平定）」を二大事業として強力に進めました。坂上田村麻呂の派遣は、この「軍事」の一環であり、朝廷の影響力が及ぶ範囲を東北地方まで広げるという目的がありました。
問14	答え 3 院政	11世紀後半に白河上皇が始めた政治形態です。藤原氏が天皇の外戚（母方の親戚）として権力を持っていた摂関政治を抑え、皇室が政治の主導権を取り戻すために行われました。天皇が位を譲り、上皇となった後も「院庁」という独自の役所を置いて実権を振るいました。